



銀杏だより

2月号

令和3年1月29日 戸田市立戸田東小学校

<http://www.toda-c.ed.jp/site/todahigasi-e/>

児童数 1062人 男子524人 女子538人 電話442-3911

誰一人取り残さない学びの実現 ～令和3年度 多様な学びの場が整います～

校長 小高 美恵子

“光の春”と称される如月。

教室の窓から差し込む日差しの柔らかさに心とむ反面、肌を感じる寒さが厳しい日が続いております。非常事態宣言下の対応では、保護者の皆様にはご理解ご協力をいただき、滞りなく教育活動を進めることができていることに心より感謝申し上げます。

先月は6年生の子どもたちの活躍の姿が多く見られました。

1月16日(土) オンラインで開催された「戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会」に出場し、見事金賞を受賞した さん、 さん、 さん。「市内の食品ロスを減らしたい」という強い思いから、お店と消費者をつなぐアプリ「たべきゅう」を自分たちで制作しました。協力店舗の賞味期限の近い食品の割引等の情報を、登録した市民の皆さんに随時お届けするサイトになります。

また、マスコミ等で取り上げられた「戸田ハニー・ラスク」の商品化を実現した さん、 さん、 さん。戸田商工会女性部が作る蜂蜜「戸田ハニー」と市内の「石窯パン工房・暖家」を結び付け、「戸田ハニー・ラスク」を共同開発。1月26日から販売開始となりました。ポスターやラベルまで自作。ラベルについている QR コードを読み取ると、商品アンケートサイトと商品ホームページに移動します。

これらは、本校が全学年で進めているPBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)での子供たちの姿です。「子どもにできないことはない」と、子どもの意欲や能力に壁をつくらずに進めた学びの姿。

どちらの姿も、学校だけの取組ではなく、家庭のご理解とご協力、そして地域の方々の温かなご支援があって実現できたものであり、感謝の気持ちで一杯です。

今後も、教室と地域をつなぐ、学校と実社会がつながる学びを推進し、20年後の社会につながる学びへと深化させ、未来を逞しく生き抜く子どもたちへと成長させていきたいと思っております。

さて、子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じ、学校がより一層子どもの力を引き出す学びの場となるよう、令和3年度より特別支援学級とことばの教室を新設することが決定致しました。

特別支援学級 (令和3年度より新設)

少人数で、その子にあった学びの方法・内容・ペースで学習、生活する学級です。

一人ひとりに合わせた学びができます

大きな集団で一斉に学ぶのではなく、個別あるいは小集団という教育環境の中で、その子の力を引き出し、さらに高めるような学習を行います。

当該学年の学級で一緒に学ぶ時間もあります

その子の様子に合わせて当該学年の学級で授業を受けたり、給食を食べたりします。

ことばの教室 (令和3年度より新設)

個別の環境で、ことばやきこえの力をつける指導を行う教室です。

週1回程度の通級制です

普段は在籍学級や在籍学校で学習し、ことばやきこえの学習をするために、通います。

日本語指導教室 (継続設置予定)

戸田東小に通う外国人の子どもたちが、日本語を学ぶ教室です。

週数時間、日本語を学びます

必要に応じて個別または少人数で学習します。



本校では今後も、全ての子どもの学びを保障し、誰一人取り残さないための学びの環境を整え、充実していくことを目指してまいります。皆様のご理解をどうぞよろしくお願い申し上げます。